

SEINO KOSEI HOSPITAL

# 杏通信

VOL.2

## 新年のごあいさつ

会長 堀尾 茂之／病院長 西脇 伸二

## 第130回 市民公開講座開催

## 緩和ケアってなんだろう？

## いびがわマラソンに参加しました

## 職場体験に参加しよう



心のこもった医療の提供

私たちは患者さんと共に歩む医療を実践します

## 外来診療担当表

●患者サポートセンター TEL 0585-36-3200

●外来受付時間／午前8時30分～11時30分

2024年1月1日現在

		月	火	水	木	金
内科	午前	初診 C01 岩佐 太誠 初診 C02 渡邊 一弘 C03 — 再診 C04 足立 政治 再診 C05 — 再診 C07 清水 靖子 再診 C08 河合 隆雄(代) 中川 正康(代務医)	伊藤 有紀 清水 靖子 鷹尾 賢(代務医) 廣田 卓男(代務医) 馬淵 正敏 岩佐 太誠 清水 靖子 水草 貴久 山田 好久(代務医)	足立 政治 水草 貴久 西脇 伸二 — 塚本 達夫 渡邊 一弘 清水 靖子	馬淵 正敏 松尾 康博(代務医) 幅 智教(代務医) 中村 博式 伊藤 有紀 樋上 裕起(代務医) 水草 貴久 山田 好久(代務医)	中村 博式 山田 好久(代務医) — 伊藤 有紀 — — 水草 貴久 渡邊 一弘
	午後	特殊外来	【NST・PEG外来】 西脇 伸二 予約診療(14:00～16:00) 【神経内科】 吉倉 延亮(代務医) 予約診療(14:00～16:00)	【血液内科】 中村 博(代務医) 予約診療(13:30～16:00) —	【心臓血管外科】 加藤 貴吉(代務医) 予約診療(14:00～16:00)	【血液内科】 中村 信彦(代) ※不定期診療 予約診療(13:30～16:00)
	午前	A01 高橋 孝夫 A02 佐野 仁哉 A03 8:30～ 10:30 10:30～ 11:30 A04(乳腺) 熊澤 伊和生	櫻谷 卓司 飯田 辰美 熊澤 伊和生 岡田 将直 熊澤 伊和生	小島 則昭 岡田 将直 西尾 公利 佐野 仁哉 熊澤 伊和生	熊澤 伊和生 高橋 孝夫 池庄司 浩臣 小島 則昭 飯田 辰美	西尾 公利 池庄司 浩臣 櫻谷 卓司 — 櫻谷 卓司
	午前	※予約診療 ※入棟面談を含む	小田切 拓也 (11:00～12:00)	小田切 拓也 (11:00～12:00)	佐野 仁哉 (11:00～12:00)	小田切 拓也 (11:00～12:00)
	午後	小田切 拓也 (15:00～17:00)	小田切 拓也 (15:00～17:00)	佐野 仁哉 (15:00～17:00)	小田切 拓也 (15:00～17:00)	—
	午前	B01 熊澤 慎志 B02 馬場 岳士	熊澤 慎志 馬場 岳士	熊澤 慎志 四戸 隆基	熊澤 慎志 四戸 隆基	馬場 岳士 四戸 隆基
	午前	D06 伊藤 貴美子 D07 大西 秀典(代務医) D08 上田 優果	伊藤 貴美子 上田 優果	後藤 加寿美 上田 優果	伊藤 貴美子 上田 優果	伊藤 貴美子 上田 優果
	午後	予防接種 15:00～	—	—	—	心理カウンセリング 予約診療(13:00～)
	午前	A06 古田 典夫	古田 典夫	古田 典夫	古田 典夫	古田 典夫
泌尿器科	午前	D01 萩原 徳康 D02 上田 翔太	上田 翔太	萩原/上田 交代制	上田 翔太	萩原 徳康
	午後	不妊外来 萩原 徳康	伊藤 康久	伊藤 康久	萩原 徳康	伊藤 康久
	午後	—	—	—	—	—
耳鼻咽喉科 頭頸部外科	午前	D05 竹内 秀行 D05 白戸 弘道	竹内 秀行 白戸 弘道	竹内 秀行 白戸 弘道	竹内 秀行 白戸 弘道	竹内 秀行 白戸 弘道
	午前	D04	—	代務医	市川 裕子	藤広満智子 市川 裕子
皮膚科	午前	E01 村田 一弘	村田 一弘	村田 一弘	村田 一弘	村田 一弘
眼科	午前	B06 堀 貴光(代務医)	田中 嘉隆	江頭 裕介(代務医)	田中 嘉隆	田中 嘉隆
脳神経外科	午前	B04	濱屋 千佳	川瀬 美千代 (術前診察のみ)	濱屋 千佳	川瀬 美千代
麻酔科 歯科口腔外科	午前	吉見 涼子 高橋 良昌	吉見 涼子 高橋 良昌	吉見 涼子 高橋 良昌	吉見 涼子 高橋 良昌	吉見 涼子 高橋 良昌
		【口腔外科専門外来】 柴田 敏之(代務医)	渡辺 二三雄	渡辺 二三雄	—	渡辺 二三雄
	午後 予約診療のみ	吉見 涼子 高橋 良昌	吉見 涼子 高橋 良昌	吉見 涼子 高橋 良昌	吉見 涼子 高橋 良昌	吉見 涼子 高橋 良昌
		—	渡辺 二三雄	山田 陽一(代務医)	柴田 敏之(代務医)	山田 陽一(代務医)

発行

JA岐阜厚生連

岐阜・西濃医療センター

西濃厚生病院

〒501-0532 岐阜県揖斐郡大野町下磯293番地1

TEL 0585-36-1100 FAX 0585-36-3100 <https://seino.gfkosei.or.jp/>

[受付] 午前8:30～午前11:30

[休診日] 土曜・日曜・祝日・年末年始

※人工透析センターのみ土曜診察

## 会長挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年の中は、本会事業につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、沈静化の状況にある一方で、インフルエンザ感染症が本格的に流行しつつあり、昨年末には岐阜県下全域に警報が発出されました。今後は、新興感染症等が毎年流行する可能性があるなかで、3年以上のコロナ禍での知見を踏まえた感染症対応が必要であると認識しております。本会病院は、コロナ禍において積極的に感染者の受入れを行ってきましたが、今後も、感染症の発生状況等に柔軟に対応出来る体制を敷いてまいります。

岐阜県においては、平成28年7月に岐阜県地域医療構想が策定され、2025年を目指した医療提供体制の適正化・効率化に向けて取り組んでいます。2025年以降も人口減少・少子高齢化は進展し、更なる地域医療構想の推進と共に医療従事者の方針

事者の働き方改革、医師偏在対策を一括的に推進することが求められています。

本会においては、岐阜

県地域医療構想の方針に沿って、人口が減少する環境下においても、継続的して安定的に地域医療を提供していくため、岐阜県の5医療圏のうち4医療圏7病院で、病床再編・病院統合を進めているところです。

医療を取り巻く環境は、今後も大きく変わっていくなかで、大変厳しい状況を迎えることが予想されます。本会は、公的医療機関として「地域の皆様から信頼され、必要とされる病院づくり」を目指し、取り組んでまいります。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げますとともに、本会事業にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

岐阜県厚生農業協同組合連合会  
経営管理委員会会長

堀尾 茂之

# 新年のごあいさつ

## 病院長挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は西濃厚生病院にとって新しいスタートを切った年となりました。

昨年10月1日、旧揖斐厚生病院と西美濃厚生病院の病床を再編し、400床の西濃医療圏北部の基幹病院としてオープンしました。開院にあたって多くの方々のお力添えをいたただき誠にありがとうございました。事前の内覧会では、想定以上の多くの来訪者が殺到し大変ご迷惑をお掛けしました。時間の関係で見学をお断りした方々にはこの場を借りて心よりお詫び申し上げます。今回の移転に伴い多くの医療機器を最新のものに刷新いたしました。A-I診断支援内視鏡、PET-CT、ロボット支援手術装置、放射線治療器、電子カルテと連動した入院ベッドシステムなどを導入いたしました。医療科も増やし、皆様の個々の病状や要望に応じた医療を提供できるように努めております。

さて、昨年の5月より新型コロナ感染症は5類に引き下げられ、世の中は2019年以前の状態に戻りつつあります。飲食店も多く

のお客さんが入っておりますし、観光地もにぎわいを取り戻しております。医療の領域でも、感染対策を施しながらも以前と同様な診療体制となっていました。コロナ前と変わった点は、様々な情報が簡単にパソコンやスマホに入ってくるようになつたことです。多くの会議はリモートで行われ、今後はリモートで診療が可能な時代になつてくるものと思われます。見え便利な世の中になつてきているように思えますが、チャットGPTに代表されるようなAIによる情報の虚偽がますますわからなくなつてきています。私共も最新の機器を使いつながら時代の流れに遅れないようにしてまいりますが、医療で大切なことは人と人、スタッフと患者さんとの心のつながりであると考えております。病院の理念は「心のこもった医療の提供」です。患者さんとの直接のコミュニケーションを大切にしながら、地域の住民から信頼される病院となる

よう今後とも努力してまいります。皆様にとりまして、この新たな年がより良き年でありますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



病院長  
西脇 伸二

講演  
1

### 胃と大腸のがん: ここまで進んだ内視鏡診断と治療

西濃厚生病院 副院長兼消化器内科部長 足立 政治

日本に多い胃と大腸がんは早期発見出来れば完治しますので症状のないうちに定期的にがん検診を受けることが重要です。当院では最新のAIを用いた内視鏡検査法や治療を提供できますのでお気軽にご相談ください。

講演  
2

### 大腸がん:ここまで進んだ外科治療

西濃厚生病院 副院長兼消化器外科部長 高橋 孝夫

大腸がんを根治するには手術が基本となり、外科治療が特に中心となっています。低侵襲手術とされる腹腔鏡手術やロボット手術が増加しています。また機能温存手術として肛門温存手術が普及してきています。また切除不能大腸癌に関しても化学療法を用いて腫瘍を縮小し、根治手術が行われるようになってきています。

講演  
3

### ここまで進んだ肝臓病の診断と治療

中濃厚生病院 副院長兼内科部長 白木 亮

慢性肝疾患で従来問題となっていたC型肝炎ウイルスは、直接作用型抗ウイルス薬を8~12週間内服することにより、95%以上で駆逐することが可能となりました。一方で、脂肪肝を由来とする慢性肝疾患が近年問題となっています。肝臓は痛みの出ない沈黙の臓器ですので、定期検査をお勧めします。

講演  
4

### ここまで進んだすい臓がんの診断と治療

岐北厚生病院 副院長兼消化器内科部長 畠山 啓朗

すい臓がんは早期発見が難しく、全ての主ながんの中で一番5年生存率の低い恐ろしい病気です。それでもステージ0や1の段階で早期発見をすることで生存率は改善します。重要なのはリスクの高い人は、しっかりと定期的に検査を受けることです。



講堂会場

## 第130回 市民公開講座

日本消化器病学会東海支部共催

# ここまで進んだ おなかの病気の診断と治療

西脇病院長が学会長を務めました、日本消化器病学会東海支部会が主催となり、11月19（日）西濃厚生病院において、市民公開講座を開催しました。「ここまで進んだ おなかの病気の診断と治療」をテーマに消化器分野の治療を専門とする講師より講演をしていただきました。当日は、194名の地域の皆様が講演を聴きに来てくださいり大盛況のうちに終えることができました。

お忙しい中、多くのご参加ありがとうございました。



サテライト会場

# いびがわマラソンに参加しました!

11月12日(日)揖斐川町で開催された「いびがわマラソン2023」に、救護ボランティアとして参加しました。救命講習を受講したスタッフや、DMAT隊員である医師や看護師、医療従事者が急病者やけがされた方の救護にあたりました。懸命に走るランナーに熱い声援を送りながら、地域の皆様をはじめ、多くのボランティアの方々と共に参加でき無事に大会を終えることができました。

当院職員も、ランナーとして数名参加させていただきました!



JOB TRIAL

## 職場体験に参加しよう!

当院では、近隣の中学生の職場体験学習として学生の受け入れを行っています。将来医師や薬剤師、看護師を志す学生さん、ドラマを見て医療に興味を持ったと話してくれた学生さん、今年多くの学生さんが参加してくださいました。

検査室にて顕微鏡をのぞいてみました。



ナース服に身を包み、1日目は病院施設内を見学します。普段見ることのない臨床の現場を間近に見ることができ、色々な職種の方の貴重な話を聞けてよかったですと感想をいただきました。2日目は、患者さんの体調管理、バイタル測定、食事介助、環境整備など、看護業務体験をしました。

職場体験を通して学生たちの輝く明るい未来に、働くことの意義を深め興味を持っていただけたら嬉しいです。

2023年10月に開院し、西濃圏域では初めての緩和ケア病床を開設しました。緩和ケアとは、聞いたことがあるかもしれません、少し怖いところというイメージもあるでしょう。緩和ケアとは何をするところで、どんな時にかかるとよいのか、解説をします。

何らかの重い病気にかかった時に、不安になり、夜眠れなくなることは一般的なことです。病気によっては、痛み、息苦しさ、吐き気などの身体の症状が現れ、仕事を続けられるか、家族で介護ができるかなど、様々な困りごと(症状)が出現します。緩和ケアとは、病気そのものの治療はしませんが、

そのような症状を少しでも楽にする(緩和する)ための部署です。医師以外に、看護師、心理師、薬剤師、リハビリテーション、ソーシャルワーカーなど多職種で関わり、薬剤やケア、相談などをしています。



# 緩和ケアってなんだろう?

緩和ケアには①外来、②緩和ケアチーム(緩和ケア以外の病棟に入院し、症状を緩和するために副科として関わる)、③緩和ケア病棟の3つの部門があります。いずれも主治医(他の病院に通院されている方でも結構です)からの紹介が必要であり、緩和ケア病棟に入院を考えている方には、まず緩和ケア外来で説明を受けて頂きます。

また緩和ケアは終末期という印象があるかもしれません、が病気の進み具合や治療内容に関わらず、症状にお困りであれば緩和ケアにかかることができます。緩和ケア病棟は、がんで治療ができない状態の患者さんに限られます、が、症状を和らげ退院することができます。家で往診を受けることもあります。家で往診を受けて治療をされている方も、急なことがあった時に入院場所(バックアップベッド)を確保しておくと安心して療養することができます、緩和ケア病棟はその目的でも使用して頂くことができます。また介護される方の負担を軽減するために、短期間の入院(レスパイト入院)も可能です。

お困りのことがあれば、まずは主治医にご相談頂き、お気軽に受診して下さい。

## ボランティアスタッフを募集します



6F緩和ケア病棟  
キッチン・ダイルーム

当院では、緩和ケア病棟で行っているイベントを、一緒にサポートしていただけるボランティアスタッフを募集しています。他病院でボランティアの経験のある方はもちろん、物づくりが好きな方、未経験の方も歓迎します。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

お問合せ 西濃厚生病院 企画総務課 ☎ 0585-36-1100